

# 合併促進協議会だより

## ◆ 県域JAの具体化を進めています ◆



### 生産資材の価格抑制に向けて

前回の合併促進協議会だよりに引き続き、今回もJAのメイン事業である営農・経済事業について県域JAの購買事業はどうなるのかを紹介します。

#### 1 価格抑制に向けた施策

県域合併の効果を購入事業で最大限発揮し、**組合員の所得向上につなげることを目指しています**。そのため**生産資材の価格抑制**に向けた各種施策を検討しています。

#### 1. 銘柄の集約化

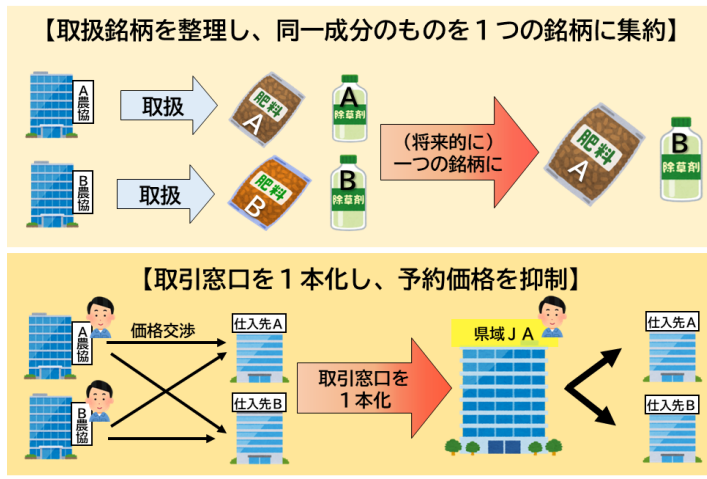
各JAで取り扱っている肥料・農薬などの生産資材を集約し、将来的に規格や品目、成分などが同一の銘柄の統一を検討しています。これにより**発注ロットを大型化**することができ、**価格抑制が可能**となります。

また、配送の効率化も可能となり、**物流コストの抑制**も期待できます。

#### 2. 取引窓口の一本化

各JAが取引していた仕入先との**窓口を一本化**することで、県域内ですべてまとめて大量購入することができ、**生産資材の予約価格の抑制**が期待できます。

また、注文や請求などの事務作業が簡素化され、事務コストの低減が可能となります。こうすることで、その分の時間や人員を営農指導や現場でのサポートにより充てられるようになります。また、資材調達にかかる経費を抑えることにもつながります。



期待できる効果

- 発注ロットの大規模化による価格抑制
- 配送の効率化による物流コストの抑制
- 予約価格の抑制
- 事務コストの低減

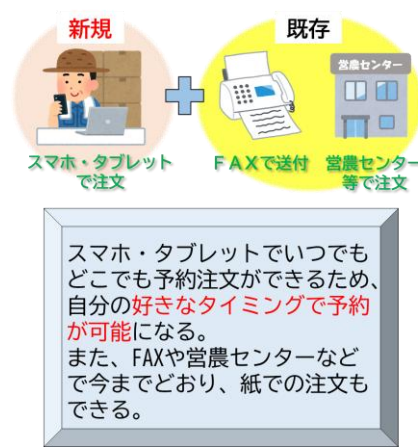
【生産資材の価格抑制に向けた各施策（イメージ）】

#### 2 予約注文のデジタル化

肥料・農薬の予約注文に関する組合員の利便性向上を図るため、**アプリによる予約注文のデジタル化**を検討しています。スマホやタブレットで予約資材の確認ができ、いつでもどこでも注文が可能となります。

また、予約注文のデジタル化により営農指導員が現場に向く時間が増えることも見込んでいます。

もちろん、スマホなどの取り扱いが難しい場合は**これまでどおり紙での注文**もできるようにする予定です。



【県域JAでの予約注文（イメージ）】

#### ご意見・ご要望

県域JA等にかかるご意見・ご要望は下記QRコードより随時、募集しています。

